

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	のびのび	公表日	R7年 1月 6日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	少しずつ改善を重ねている。床もきれいになり、明るくなった。	概ね配慮されているが、建物自体が店舗だったこともあり、トイレや手洗い場等まだまだ工夫していく余地あり。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9			
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1		個別対応の部屋が少ない
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		保護者の声を職員全員で共有している。また、真摯に改善に取り組んでいる。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・朝礼等共有の機会が多い。また、個別の面談も年2回以上ある。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4		評価の受審を検討する。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		年間計画により、実施される。また、必要に応じて機会がある。	
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		HP、パンフレット、各保護者に送っている。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	9		年々、研修にて計画の質を向上させ、実施している。	
	13 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		毎回ほぼ全職員で共有している	
	14 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		毎回ほぼ全職員で共有している	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	必ず適応行動を翌日に検討している	
	16 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1	全職員で研修し計画に盛り込んでいる	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		活動会議にて立案・ねらいの共有	

～の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		活動会議にて立案・ねらいの共有	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	8	1	個別とグループ活動を確実に実施	個別と集団組み合わせているかどうか？
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	3	翌朝の朝礼にて共有	終了後は不可であり、翌日に実施している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
	24	<u>【放デイのみ】</u> 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8	1		
	25	<u>【放デイのみ】</u> こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9		毎年見学を実施（児童発達支援センター）	
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	5	土曜日活動にて実施	実施していないが、質問以外の移行支援の模索がいるか？またニーズの把握も必要
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	1	連絡ノートを活用	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特レーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	マカトン研修を実施	
	32	<u>【児発事業所・児発センターのみ】</u> 併行利用や移行に向けた支援を行ななど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		実施記録等	
	33	<u>【児発事業所・児発センターのみ】</u> 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	4	要請があれば作成	要請が無ければ作成はしていない。
	34	<u>【児発センターのみ】</u> 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	<u>【児発センターのみ】</u> 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	36	<u>【児発センターのみ】</u> (自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	37	<u>【放デイのみ】</u> 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1		

	38	【放ディのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	2		
	39	【放ディのみ】学校を卒業し、放課後等ディサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	1	要請があれば作成	知らない
	40	【放ディのみ】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	7	2		
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			
	42	児童発達支援計画(放課後等ディサービス計画)を作成する際にこどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			
	43	「児童発達支援計画(放課後等ディサービス計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9			
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	7		・利用児以外のきょうだいを含めた交流機会はない。 ・次年度実施を計画する。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	1	タイムリーな情報提供(特に児童発達の送迎が園になるため、保護者とのやり取りが薄い)と共有する手段が必要。	
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	3		地域との交流はあるが、機会は少ない。
非常時等の対応	51	【放ディのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	3	利用児も含めた訓練も必要ではないのか	周知は契約時のみとなっている。
	53	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	3		全員での訓練が難しい。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1	予防接種歴が不明な子もあり(任意接種も含め)特に児童発達では、感染予防の観点からもより詳細な成育歴が必要。	
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3		食事提供がないので、保護者との口頭での確認のみとなっている。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	2		
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	3	・家族への周知はできていない ・わからない	

	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9			